

科目名	倫理学概論						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	2 年次	単位数	2 単位
教員名	荊木 聡						

授業概要／Course outline

本授業は、現代社会の諸課題を先哲の思想等を手掛かりに倫理的観点から考察し、現代社会に生きる人間としての自己の在り方生き方について自覚を深めることを目的とする。授業では、古代ギリシア、古代中国及び近現代の思想や世界宗教の基本的な考え方を、自己の生き方や課題と関連付けながら考察し、理解を深めさせる。その際、現代社会の諸課題克服へ向けた討論等、協動的な学修を通して倫理的な見方や考え方を身に付け、他者と共に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする主体的学修を進める。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：グループワーク）

他者との意見交換・議論交流を行い、メタ認知の促進に資する。

- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業／遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

情報収集・交流及び予復習に活用する。

- ・実務経験のある教員による授業

公立中学校や附属高校の勤務経験を生かして、現代社会に生きる人間としての自己の在り方生き方についての自覚を深めるための授業である。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 授業概要とイントロダクション

年間の授業スケジュール、事前・事後学修の方法、履修上の留意事項、到達目標及び評価方法等について確認した後、「倫理学」の基本的定義について学修する。その後、各自で本授業に期待すること及び本日の学修についての振り返りを行う。（基本的にすべての授業後に実施）

第2回 存在論・認識論・価値論

科学と哲学の相違について考察し、哲学における存在論・認識論・価値論の考え方から倫理学についての理解を深める。

第3回 倫理学と自己（YouTube 活用）

倫理学と自己の生き方との関係性や人生におけるその有用性について、現代社会を生きる人間としての具体的な事例を基に考察し、考察した内容を交流する。その際、「複雑化した現在において、人はどう生きるべきか」や「望ましい社会とは何か」という問いとの関係から、「規範倫理学」と「応用倫理学」について学修する。

第4回 古代ギリシアの思想と自己及び現代社会

「無知の知」「問答法」「イデアとエロース」「古代ギリシャの四元徳」「知性的徳と倫理的徳」「中庸」等の思想を基に、日常的な問題や現代社会における課題の解決策についてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第5回 ヘレニズムの思想と自己及び現代社会

「禁欲主義」「不動心」「世界市民主義」「快楽主義」「魂の平安」等の思想を基に、日常的な問題や現代社会における課題の解決策についてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第6回 古代中国の思想と自己及び現代社会

「仁」「恕」「法治主義と徳治主義」「性善説」と「性悪説」「知行合一」「非攻論と兼愛」等の思想を基に、日常的な問題や現代社会における課題の解決策についてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第7回 宗教の教えと自己及び現代社会

「隣人愛」「黄金律」「慈悲」「縁起」「諸行無常」「我執と煩惱」「四苦八苦」「四諦八正道」等の思想を基に、日常的な問題や現代社会における課題の解決策についてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第8回 日本で育まれた思想と自己及び現代社会

「清明心」「十七条憲法」「悪人正機説」「孝と愛」「もののあはれ」「正直・儉約・勤勉」「天賦人權論」「独立自尊」「間柄的存在」等の思想を基に、日常的な問題や現代社会における課題の解決策についてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第9回 近現代の思想と自己及び現代社会①(「懐疑主義」「知は力なり」「イドラ」「経験論と合理論」「自然に帰れ」等の思想を基に)

第10回 近現代の思想と自己及び現代社会②(「理論理性と実践理性」「道徳法則」「動機と結果」「目的の王国」「弁証法」「正義論」「幸福と利益の公正な分配」「功利主義」「プラグマティズム」「問題解決学修」等の思想を基に)

第11回 近現代の思想と自己及び現代社会③(「孤独な群衆」「実存主義」「実存的交わり」「アンガジュマン」「両性の平等」「非暴力主義」「生命への畏敬」「道具的理性と批判的理性」「対話的理性・コミュニケーション的合理性」「構造主義とポスト構造主義」「パラダイムの変換」等の思想を基に)

第12回 生命倫理(YouTube 活用)

近年の生命科学や医療技術の発達に伴い、従来の生命観のみでは対処できない現代的問題の解決策についてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第13回 環境倫理

これまで学修してきた先哲の思想や科学的な見方や考え方を基に、現代の具体的環境問題に対する解決策について、世代間倫理という観点を踏まえてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

第14回 情報モラル

情報社会の特質及びその進展がもたらす人間や社会に対する影響を考察し、現代の具体的問題に対する解決策について、世代間倫理という観点を踏まえてディスカッションするとともに、自己の生き方や社会の在り方について考察し、考察した内容を交流する。

★オンデマンド テーマ：倫理学の学修と自己の在り方生き方・振り返り・総括

第14回目の授業後、ムードル内に配信する。動画・資料や授業スライド等を参考にして、学んだ内容に関する問いに答えるとともに、これまでの学修について振り返り、総括レポートをムードル内で提出する。(90分相当・10日以内に提出厳守)

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 授業概要とイントロダクション

「事前学修」 倫理学に対するイメージを50字程度にまとめておく。

「事後学修」 配布した資料の内容を理解し、疑問点等も含めてまとめておく。

第2回 存在論・認識論・価値論

「事前学修」 哲学における存在論、認識論、価値論の考え方について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 配布した資料の内容を理解し、疑問点等も含めてまとめておく。

第3回 倫理学と自己

「事前学修」 「規範倫理学」と「応用倫理学」について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 配布した資料の内容を理解し、疑問点等も含めてまとめておく。

第4回 古代ギリシアの思想と自己及び現代社会

「事前学修」 「無知の知」「問答法」「イデアとエロース」「古代ギリシャの四元徳」「知性的徳と倫理的徳」「中庸」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第5回 ヘレニズムの思想と自己及び現代社会

「事前学修」 「禁欲主義」「不動心」「世界市民主義」「快楽主義」「魂の平安」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第6回 古代中国の思想と自己及び現代社会

「事前学修」 「仁」「恕」「法治主義と徳治主義」「性善説」と「性悪説」「知行合一」「非攻論と兼愛」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第7回 宗教の教えと自己及び現代社会

「事前学修」 「隣人愛」「黄金律」「慈悲」「縁起」「諸行無常」「我執と煩惱」「四苦八苦」「四諦八正道」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第8回 日本で育まれた思想と自己及び現代社会

「事前学修」 「清明心」「十七条憲法」「悪人正機説」「孝と愛」「もののあはれ」「正直・儉約・勤勉」「天賦人權論」「独立自尊」「間柄的存在」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第9回 近現代の思想と自己及び現代社会①

「事前学修」 「懐疑主義」「知は力なり」「イドラ」「経験論と合理論」「自然に帰れ」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第10回 近現代の思想と自己及び現代社会②

「事前学修」 「理論理性と実践理性」「道徳法則」「動機と結果」「目的の王国」「弁証法」「正義論」「幸

福と利益の公正な分配」「功利主義」「プラグマティズム」「問題解決学修」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第11回 近現代の思想と自己及び現代社会③

「事前学修」 「孤独な群衆」「実存主義」「実存的交わり」「アンガジュマン」「両性の平等」「非暴力主義」「生命への畏敬」「道具的理性と批判的理性」「対話的理性・コミュニケーション的合理性」「構造主義とポスト構造主義」「パラダイムの変換」等の思想について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第12回 生命倫理

「事前学修」 「遺伝子操作」「脳死と臓器移植」「安楽死と尊厳死」「生殖医療の課題」等について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第13回 環境倫理

「事前学修」 「地球温暖化」「酸性雨」「オゾン層の破壊」「世代間倫理」等について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

第14回 情報モラル

「事前学修」 「情報社会」「マス＝メディア」「個人情報保護」「仮想現実」等について、参考書等の内容を確認しておく。

「事後学修」 ディスカッションや考察した内容をまとめ、次回までに復習しておく。

★オンデマンド テーマ：倫理学の学修と自己の在り方生き方・振り返り・総括

「事前学修」 これまでの本授業の内容を、配布資料やノートの記述等を基に確認しておく。

「事後学修」 本授業の総括としてまとめた内容を今後の人生に生かす。

※事前・事後学修は、各授業約180分必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

社会を論理的かつ多様な視点から見ることにより、現代社会に存在する倫理的問題を発見し、先哲の思想等を手掛かりに人間としての自己の在り方生き方との関連から、コミュニケーション能力を生かしつつ他者と協働的に考察して、その解決策を導き出すことができる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・主体性
- ・発信力
- ・協働性・協調性
- ・倫理性

履修上の注意／Special notes, cautions

自問内省し、大いに語り合うことを大切にする。
疑問をそのままにしておかない。

評価方法／Evaluation

- ・授業中の小レポート(課題・振り返り) 100%
次回授業で一部のレポートを紹介するとともに、評価内容を共有する。
- ・ペアワークやグループワークへの不参加は減点対象となる。

教 材／Text and materials

教科書:適宜資料配布

参考書等:文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』(東京書籍 平成31年3月)
大杉昭英・柴原弘志編著『高等学校新教育課程の授業と評価 公民』(学事出版 2005年)
高等学校公民科「公共」「倫理」「政治・経済」の教科書(当該年度の最新版)

質問や相談の方法／Instructor contact

授業の前後・オフィスアワー及びメール(初回授業時に詳細連絡)